

第10回 エカテリンブルグ市日本語弁論大会

1. 日時：2016年4月16日（土） 午後11時開始（15時30分頃 終了予定）

| 1

2. 場所：ウラル連邦大学 Lenina 51, 3F

3. カテゴリー

- 1) カテゴリーA：初級（学習時間 250 時間以内 / N5 レベル程度）
- 2) カテゴリーB：初中級（学習時間 400 時間程度 / N4 レベル程度）
- 3) カテゴリーC：中級以上（学習時間 700 時間以上 / N3 程度、それ以上）

4. 参加資格

- 1) ウラル地方で日本語を勉強している人。
- 2) 日本に90日以上住んだことがない人。
- 3) 過去にエカテリンブルグ市日本語弁論大会(ウラル連邦大学弁論大会)で1位をとったことがない人。

5. 発表基準

- 1) テーマ、文体は自由。
- 2) 自分で書いたオリジナルの原稿であること。
- 3) 発表の時、内容が変わらなければ原稿通りでなくても良い。
- 4) 発表のとき、原稿持ち込み不可。スライド、小道具等の使用も不可。
- 5) スピーチ時間を守ること。
 - ① カテゴリーA：初級 2分（2分30秒以上で失格）
 - ② カテゴリーB：初中級 3分（3分30秒以上で失格）
 - ③ カテゴリーC：中級以上 5分（5分30秒以上で失格）
- 6) 発表後、質問員の質問2問に答える。カテゴリーAのみ1問。

6. 評価基準

- 1) 事前に、原稿審査があります。（カテゴリーA&B：各 10人 / カテゴリーC：5人選出）
- 2) 論旨の明確さ、内容の面白さ、主張内容の深さ、独創性、発音、プレゼンテーション力、質疑の日本語力、質疑の的確さを評価点とします。

7. 原稿締切日：2016年3月18日（金）※。締め切り厳守 例外は認めません。

- uralregionspeechcontest@gmail.com に原稿を送ってください。メール以外では受け取りません。
- 応募用紙(Application Form)も一緒に送ってください。
- 原稿は、3ページの例にそって作成してください。名前・タイトル・カテゴリーを書いてください。名前とタイトルは日本語とロシア語両方書くこと。（フォントサイズ 12、MS 明朝体/TNR、行間 1.15）
- Word を使用してください。ファイル名の書き方は次の通りです。
 - 原稿のファイル名：名前、カテゴリー(A/B/C)、text
例) Veretennikova Diana (A) text
 - 応募用紙のファイル名：名前、カテゴリー(A/B/C)、appform
例) Veretennikova Diana (A) appform
- 結果は3月27日（日）に各自にメールで連絡します。

8. その他：何か質問がありましたらご連絡下さい。✉Email: uralregionspeechcontest@gmail.com

主催：ウラル地方日本語弁論大会委員会

ウラル連邦大学国際関係学部東洋学科	門井美奈子
ウラル連邦大学国際関係学部東洋学科	Anna Burakova
ウラル連邦大学国際関係学部東洋学科	Maria Chamovskikh
日本語センター「夢」	Yulia Popova
ウラル連邦大学哲学部哲学科教育哲学・哲学歴史学科	Olga Yazovskaya

✉連絡先：uralregionspeechcontest@gmail.com

ヴェレテンニコワ・ディアナ

Веретенникова Диана

カテゴリーA

不思議な側面

Загадочная другая сторона

| 3

私は、・・・